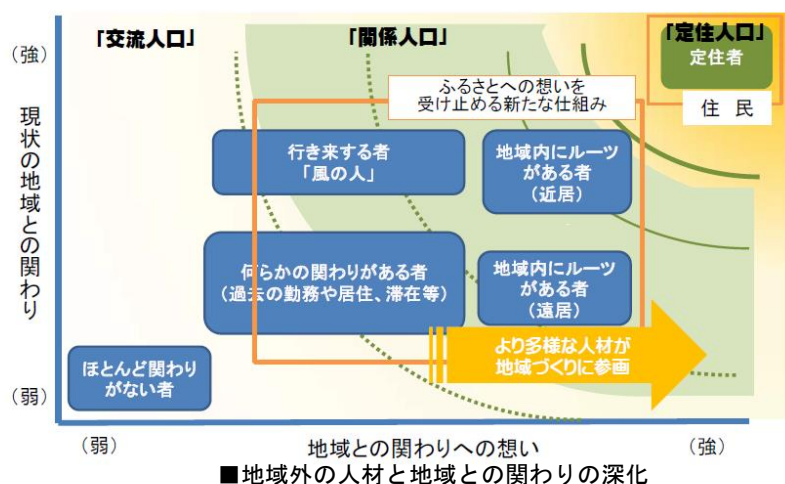


3 将来目標実現のための基本方針

- 将来目標に掲げる「縁を創造する」ことは、人口減少が進む中で、新しいまちづくりの仕組みの構築に挑戦することであると考えています。
- 地域住民だけではなく、農ある暮らしに魅力を感じたり、地域の行事や活動を応援しようとしたりする方々の存在はまちづくりの活力を表すバロメーターと言えます。



出典：「これからの移住・交流施策のあり方に関する検討会報告書

－「関係人口」の創出に向けて－（平成30年1月 総務省）

- 「関係人口」とは、縁を広げるときに大切な「能勢ファン」のことを言います。
- そこで本町では、今後、人口減少、少子化・高齢化への対策を重点的に実施するとともに、特に、この「能勢ファン（関係人口）」に着目し、地域住民に加えて、本町に想いを寄せる地域外の人材との継続的かつ複層的なネットワークを形成に向けて施策を重点的に展開します。
- 移住・交流や、本町との関わりを深化を推進し、地域内外の連携によって自立的で継続的なまちづくりを進めていくこととし、以下のような方針でまちづくりを進めます。
- 併せて、各地域が美しい自然景観等の地域資源を最大限活用しながら自立・分散型の社会を形成しつつ、地域の特性に応じて資源を補完し支え合うことにより、地域の活力が最大限に発揮されることを目指す「地域循環共生圏」の考え方にに基づき、持続可能な循環共生型の地域づくりを進めます。

※他ページの「関係人口」は「能勢ファン（関係人口）」と表記。